

“優しく、強く、愛しい人”の育成

～ 全国学力・学習状況調査 2023 の結果から ～

本年4月18日に6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、全国や静岡県の結果が新聞等に掲載されました。
焼津市の調査結果の概要をお知らせします。

■■ 国語・算数の学習について ■■

「国語が好き」全国比+1.6P、「算数が好き」+2.9P！

漢字の読み書きの力が育まれています【国語】

「国語の勉強が好きですか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに対して、多くの子供が肯定的な回答をしています。国語に対して前向きに学ぶ子供たちの気持ちを大切に、豊かな想像力と確かな学力を身に付けられる学習を実践していきます。

「漢字の読み書き（知識・技能）」の問題では、漢字を使って書き直す問題や、正しい送り仮名で書かれたものを選択する問題が出題されましたが、どちらも高い正答率でした。日々の学習の積み重ねによって力がついていることが分かります。

また、「複数の資料を読み取り、自分の考えをまとめる問題」では、文章や図などの資料を読み、内容を正確に把握する力が身に付いていることがわかりました。今後は、読み取った内容をもとに、条件に沿って書く力を高められるように、指導を工夫していきます。書く力をつけるためには、自分の考えをまとめる経験を増やす必要があります。ご家庭でお子さんと話をするときに、「どうしてそう思ったの？」「これについてどう考える？」などと問い返すことによって、考えたことをまとめて表現する力が育っていくものと思います。

「関数」の考え方の素地が育まれています【算数】

「算数の勉強が好きですか」という問いに対し、前向きな回答をした子供が全国と比較して高い割合でした。その思いをより一層高めるために、子供の興味・関心を活かした内容や日常の場面を活かした問題を取りあげていくなど指導を工夫していきます。

また、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ったり規則性を見付けたりすることがよくできていました。これは「関数」の考え方の素地が育まれているということです。ある数量を調べようとするときに、それと関係のある数量を見だし、それらの数量との間にある関係を把握して、問題解決に向かうこの考え方は、算数にとどまらず、日常生活においても大いに役立つものです。この考え方を、さらに伸ばしていくために、規則性を見付けることに加え、目的に応じて比べたり表現したりする方法を考察するなどして、日常場面で生きて働く知識となることを意識して指導を工夫していきます。

一方、図形については、性質を利用して角の大きさを求めることや、高さや底辺が等しい三角形の面積の大きさを比較し、判断することに課題が見られました。理由を記述する際、取り上げるべき事柄が複数ある場合に、それらをすべて取り上げて記述できない子供が多く見られました。今後は、子供が論理的に考えを進めて、それを説明したり判断や考えの正しさを説明したりする活動を取り入れるなど、指導を工夫していきたいと考えています。

※ お子さんに学力調査問題等を配付しましたのでご確認ください。

□□ 家庭・学校・地域…安定した生活の様子がうかがえます □□

1 家庭生活

「朝食を毎日食べている」は約 95%、「毎日同じくらいの時間に起きる」も約 90%であり、焼津市の子供たちは基本的な生活習慣が身に付いている様子がうかがえました。

家庭学習に関しては、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」は約 77%、「普段（月～金曜日）の勉強時間」は 1 日 1 時間以上が約 62%で、全国比+4.5 ポイント(P)でした。一方で、「土日や休日に全く勉強しない」割合が約 14%です。「普段、全く勉強しない」の 2%未満と比べると、勉強しない割合がかなり多いことが分かります。時間の使い方について自分で考えて行動するのは大切なことです。ご家庭で時間の使い方について話題にしてみてください。

2 学校生活・授業

「学校に行くのが楽しい」約 87%、「友達関係に満足している」90%という結果で、焼津市の子供たちが安定した気持ちで学校生活を送っている様子がうかがえます。また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」も、全国比+7.7P でした。今後も、教職員が子供一人一人を大切に声かけや支援に努めてまいります。

授業における特徴的な表れとしては、「英語の勉強が好き」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい」がそれぞれ全国比+8.0P、+5.5P と、英語への興味・関心が高いことが分かりました。また、「PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用したか」は、「ほぼ毎日」「週 3 回以上」の合計が 76.0%で、全国比+13.7P でした。GIGA スクールの推進が着実に図られています。

3 社会（地域）生活

「地域の行事に参加している」は全国比+7.5P、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」も 79.0%と、高い結果でした。焼津市の子供たちは地域との結びつきが強いことがわかります。

子供にとって、家庭や学校だけでなく、地域社会の多くの人と交流し様々な考えにふれることは、成長していく上でとても大切なことです。

□■□確かな学力を身に付けるために必要なことは… □■□

1 基本的な生活習慣（自分でできる）

「朝食を毎朝食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る(起きる)」などの基本的な生活習慣が身に付いている子供は、学習内容がきちんと定着しています。

次の表「①毎日同じくらいの時間に寝る、起きる」の質問に「当てはまる」と回答した子供の国語の正答率は67.1%で、「当てはまらない」の50.4%と比べて16.7Pも高いことがわかります。算数では21.3Pの差であり、さらに強くその傾向が見られます。

また、「②授業以外の、月～金曜日1日当たりの勉強時間」では、「30分以上」と「30分未満」で、正答率に差が見られました。毎日勉強する習慣があるほうが、学習の定着がよいことがわかります。ただし、勉強時間が長いほど正答率が高いという結果ではありませんでした。短時間であっても、自分に必要な学習を考え、集中して取り組むことが大切です。

2 主体的に学ぶ態度や姿勢（自分で…）

「主体的」とは、**自分で**何をするのか判断し、**自ら取り組む**態度や姿勢のことです。主体的に学習に取り組んでいる子供は学習内容が定着しています。

右表「③授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」について「当てはまる」と答えた子供の正答率は、「当てはまらない」という子供に比べ、国語で18.6P、算数では22.7Pと大きな差があります。同様に、「④学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」では、国語で15.8P、算数で22.2Pの差がありました。何が分かって何が分かっていないのかを理解し、復習したり発展させたりして次の学習につなげるなど、**自分で**学習を調整していくことが大切です。学習内容に興味・関心をもち、自分の学びを振り返りながら粘り強く取り組む子供を育てていきましょう。

3 仲間との対話が重要

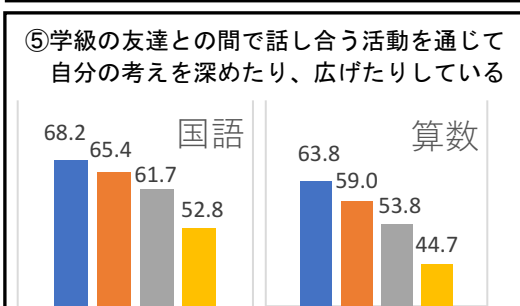
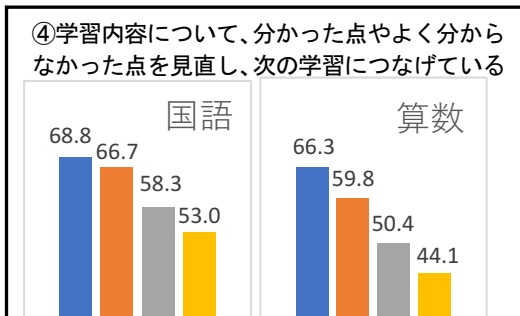
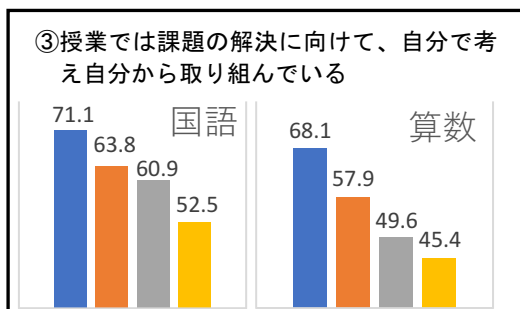
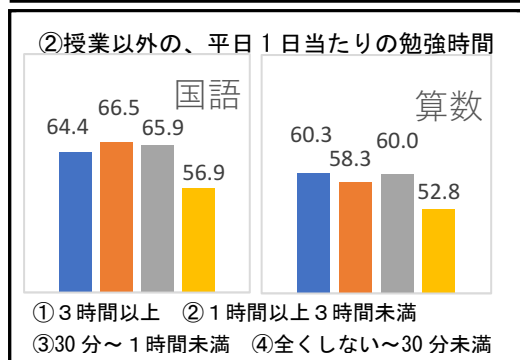
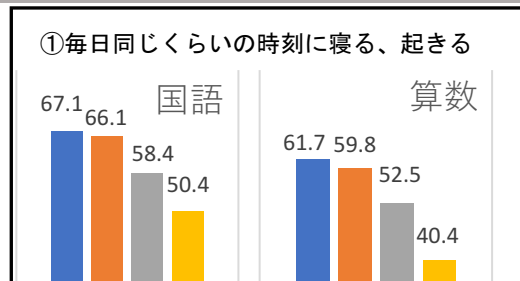
「⑤学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている」という質問では、国語で15.4P、算数で19.1Pの差がありました。

対話を通じて考えを深めたり広げたりすること、また、自分の考えをうまく伝えようと工夫することは、学力の定着だけにとどまりません。予測困難な今後の世の中を生きる子供たちが、多様な他者と協働して問題を解決していく力の育成にもつながります。学校では仲間と一緒に考えたり、活動したりすることで課題の解決に向かう学習活動を大切に授業を行っています。

※ 棒グラフは左から順に以下のとおりです

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない

※ 棒グラフの上の数値は平均正答率です（%）



子供たちを「優しさ」と「強さ」 を兼ね備えた「愛しい」人に

令和3年度に策定された「焼津市教育大綱」では、これからの時代をたくましく、しなやかに生き、自分らしい人生を輝かせていくため、下枠のような「優しさと強さを兼ね備えた愛しい人」へと成長することを目標としています。

- つまづいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人。
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人。
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れられる優しさをもった人。他者との協調や協働を大切にし、和の心をもった人。

子供たち一人一人が「優しく、強く、愛しい人」に育っていくためには、つまずきや失敗の経験がとても大切になります。たとえ乗り越えられなくても、挑戦した経験があってこそ、真の強さや優しさを身に付けることができると思います。

下の表は、教育大綱に関わる質問項目についてまとめたものです。 (R4→R5)

質 問 事 項	伸び率
① 自分にはよいところがあると思いますか	+1.5
② 人が困っているときは、進んで助けていますか	+1.0
③ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	±0
④ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	+1.7

この項目は「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の合計が全国と比べて大きな差は見られませんが、昨年度からの伸び率を全国と比較すると、「① 自分にはよいところがある」は+1.5P、「② 人が困っているときは、進んで助けている」は+1.0P、「③ 人の役に立つ人間になりたいと思う」±0、「④ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」+1.7Pと、3つの項目で上回っています。

これは、各学校で教育大綱の理念を柱に学校教育目標や重点目標を立て、教職員が「子供たちが自ら判断し、自ら動き出すような意図した働きかけ」を積み上げてきていることが、成果として表れ始めたと考えられます。なお、本年度の焼津市の学校教育の重点は「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」です。

◇ かわいい子には旅をさせよ ◇

学校では、「子供の言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても子供が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねるよう努めています。

ご家庭では、お子さんが様々な経験ができるよう、支えてほしいと思います。たとえ、それがお子さんにとって苦勞であっても、手や口を出すことを控え、温かく見守りながら励ましてあげてください。合い言葉は、「**かわいい子には、旅をさせよ**」です。

焼津市教育委員会
教育センターみらい
6 3 1 - 4 8 1 1

